

第51期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

MOBILE SPACE by **三協フロンテア**



株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第51期中間(2019年4月1日～2019年9月30日)報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。また、このたびの台風15号および台風19号により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資は一定の水準で推移しておりますが、米中の貿易摩擦や中国経済の減速などを背景として世界経済が勢いを欠くなか、輸出は伸び悩んでおり、国内経済の先行きも楽観視できない状況となっております。

ユニットハウス業界におきましては、首都圏を中心に再開発工事が継続的に行われており、オリンピック関連工事などにより、今後も需要の高い状態が続くことが見込まれます。

このような情勢のなか、当社グループは2018年4月より新しい10年ビジョンを掲げ、事業領域の拡大、新製品の開発、市場の開拓に積極的に取り組んでまいりました。

事業領域としては、展示場とトランクルームの店舗を計画にそって拡充するとともに、営業体制や施工体制を強化し、本建築市場へと展開を進めております。不動産事業については、昨年度に名古屋市にレンタルスペースの店舗を開設したの続き、当上半期は、トランクルームについても設備やワークスペースを追加した新たなサービスを実験的に開始しました。また自社で運営を行うカプセルホテルを柏市に開設するなど、様々な試みを進めております。

製品については、原価低減に向けた改良を継続する一方で、技術部門と生産供給部門が一体となった品質改善活動を推進しており、お客様の満足度向上を目指しております。

市場開拓につきましては、シンガポール支店を中心としたマーケティング活動やマレーシアの子会社での製品開発など、今後の海外展開に向けた動きが活発になってまいりました。また、ミャンマーに新たに設立した子会社にて生産工場の建設を進めており、ASEAN地域の供給能力強化を図っております。

当社は今期、創業50周年を迎えます。この記念すべき節目の年を迎えられましたのも、株主の皆様、地域の皆さま、取引先の皆さまの温かいご支援のおかげでございます。改めて御礼申し上げます。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱を持って活動してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長

長喜貴嗣

基本理念

目的(存在理由)

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観(不変の主義)

開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。

不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*[わたしたちを支える人々]とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

新10年ビジョン進捗状況

2018年より新たな10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」を掲げ、事業の展開を図っております。

事業領域としては、本建築の販売およびレンタルの強化と、不動産事業の拡大を中心に進めております。全県に配置した展示場の展示品を増強するとともに、ホームページからの集客にも積極的に取り組み、WEBと実店舗が融合した提案力のある営業体制構築を進めております。不動産事業については新たなサービスを開発し、実験的に運営を開始しております。トランクルームではお客様への訴求力を高めるため、荷物を収納するだけでなく設備やワークスペースを設けて滞在利用できる新店舗を開設いたしました。また自社運営のカプセルホテルも開設し、設備や運営方法のノウハウ獲得を目指しております。

製品については、住宅施設の一環として自社の社員寮を新設するなどの様々な研究開発と並行し、製品改良活動により製品品質向上に取り組んでおります。

海外展開については、ミャンマーに新たに設立した子会社で生産工場の建設が進捗しており、子会社社員の研修も活発に行うなど、本格稼働に向けてグループ一体となって進めております。



ジム施設内観



社員寮外観



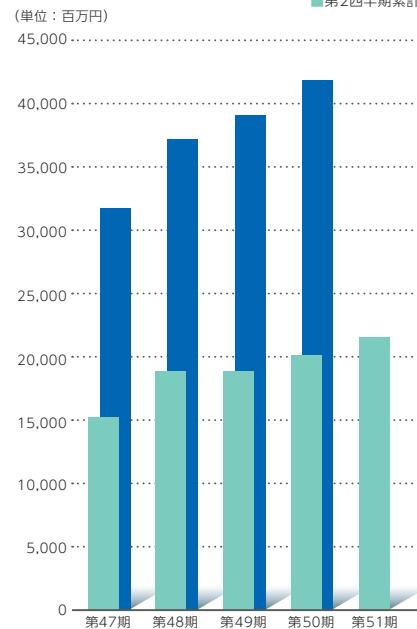
海外研修生

業績ハイライト(連結)

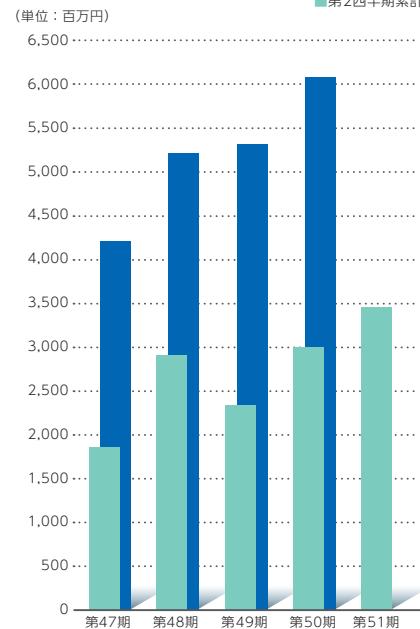
区分	期別	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期第2四半期 (2019年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期第2四半期 (2020年3月期)
売上高(百万円)		37,194	39,065	20,144	41,856	21,520
経常利益(百万円)		5,208	5,318	3,001	6,090	3,456
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		3,087	3,361	1,778	3,838	2,048
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		277.78	302.46	160.05	345.39	184.30
総資産(百万円)		55,537	57,629	58,864	60,302	61,808
純資産(百万円)		27,121	29,633	30,849	32,334	33,821

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

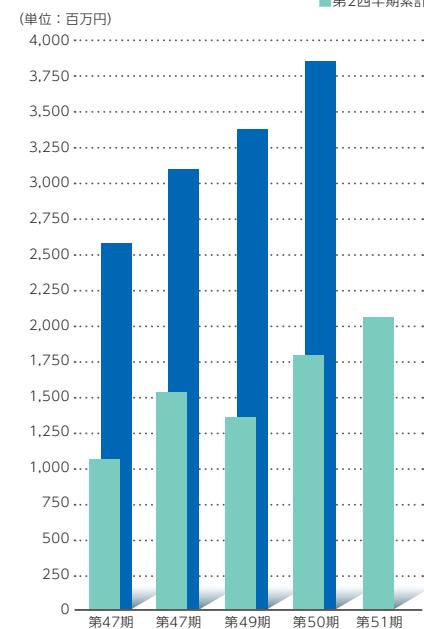
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当上半期の業績について

当上半期のユニットハウスのレンタルは、首都圏を中心とした再開工事や本格化してきた東京五輪関連の建設などを背景に受注活動に積極的に取り組み、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移し、連結売上高は前年同期比3.5%増となりました。

ユニットハウスの販売については、全国への展示場の拡充を継続して進めており、店舗数は200か所に迫ってまいりました。ホームページを活用した受注活動も積極的に進め、現実の店舗との相乗効果が出せるよう取り組んでおり、連結売上高は前年同期比11.8%増となりました。

トランクルームのレンタルについては、継続してWEB広告の強化等による収益力の向上を図っております。新規出店も進め400店舗を超える店舗数となり、連結売上高は前年同期比9.5%増となりました。設備やワークスペースを設けた店舗を実験的に開設するなど、事業拡大に取り組んでおります。

並行して生産供給体制の改善や製品改善に取り組むなど収益力の向上を図っており、売上総利益は9,226百万円(前年同期比10.4%増)、売上総利益率も42.9%となるなど、安定して推移しております。

これらの結果、当上半期の連結売上高は21,520百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

利益面におきましては、営業利益3,461百万円(前年同期比16.6%増)、経常利益3,456百万円(前年同期比15.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,048百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

財政状態も引き続き安定して推移しております。レンタル資産の増加等により、総資産は前期末に対し1,506百万円増加し61,808百万円となりました。純資産の合計額は前期末に対し1,486百万円増加し33,821百万円となり、自己資本比率は54.7%となっております。

今後とも、ユニットハウスの特長を活かしたニーズの開拓と事業開発に取り組み、業績の向上に努めてまいります。



仮設レンタル物件



学童施設外観



学童施設内観



姫路工場外観

Topic 1 新屋内型トランクルーム「+U」が始動

従来の「U-SPACEトランクルーム」は、お客様が大切なお荷物を快適に収納できるレンタル収納ビジネスでしたが、ルームに新たな付加価値をつけることで、自宅の一室のように、利用できる「+U」の展開をスタート致しました。

6月7日にオープンした「U-SPACE水戸赤塚店」では、「+U」として、消防設備を整え一時滞在を可能にした「隠れ家ルーム」、ハンガーラックや空気清浄機を設えて洋服の収納に特化した「クローゼットルーム」、ルーム内に棚板を設けてお客様の収納をサポートする「棚板付きルーム」、さらには、トランクルーム利用者が共有で利用できる「ワー

クスペース」を設け、利用者の収納物の整理やメンテナンスの実施を可能にしております。

また、店内にはアロマが香り、明るいBGMが流れておりますので、安心感と高級感を体感できる雰囲気を出しております。

今後は、トランクルームに新たな付加価値をつけることで、ユーザーのライフスタイルをより良いものへと変化させる提案ができる「+U」を兼ね備えた店舗を全国展開していき、トランクルームのイメージ自体を変化させていきたいと考えております。



ワークスペース



クローゼットルーム



隠れ家ルーム



US水戸赤塚店外観

Topic 2 三協フロンテアDAYとサッカー教室を実施

2019年7月20日、ツエーゲン金沢戦に特別協賛し、冠試合として「三協フロンテアDAY」を開催しました。スタジアム内には特設ブースとしてモバイルスペースを設置し、選手の等身大パネルや歴代ユニフォームの展示、SNS抽選会などを実施しました。オープニングセレモニーの始球式やフラッグベアラーは、すべてお子様に実施いただき、子供の夢の後押しの一躍も担っています。当日スタジアムには8,000人を超えるお客様が来場され、SNSでは一時「#三協フロンテアDAY」がトレンド入りするなど、特設ブースも大盛況となり多くの方に社名をPRすることができました。

また、社会貢献活動の一環として冠試合と同日に、小学生を対象としたサッカー教室を開催いたしました。柏レイソルの選手やコーチに直接ご指導いただきながらミニゲームを通して練習を行いました。参加された方々からは「楽しかった」「また参加したい」といった多くの有難いお言葉をいただくことができました。今後も様々な活動を通して、より一層社会に貢献できる企業を目指してまいります。



Topic 3 柏駅東口ダブルデッキ上に「カシワテラス」をオープン

2019年9月より1年間の期限とし、柏駅東口のダブルデッキ上にユニットハウスを設置し、にぎわいと憩いの拠点として空間を暫定活用する社会実験として「カシワテラス」がオープンしました。この社会実験は、「公・民・学」連携のまちづくりのモデルとして一般社団法人柏アーバンデザインセンター(UDC 2)が主催され、ユニットハウスの提供および実地設計・施工を三協フロンテアが協力し、都市再生推進法人である柏市まちづくり公社が運営を担当しています。柏市内の食材を活かしたベーカリーとして利用されたり、まちづくり情報の発信や各種イベントの実施や、広く一般市民への貸し出しも行われるなど、柏駅周辺を居心地の良いまちにするための交流スペースとして展開してまいります。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第51期第2四半期 (2019年9月30日)	第50期末 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産	16,366	15,861
現金及び預金	4,531	4,132
受取手形	599	530
電子記録債権	783	821
営業未収入金	4,665	4,524
売掛金	2,093	2,678
棚卸資産	3,281	2,825
その他	479	415
貸倒引当金	△66	△66
固定資産	45,441	44,440
有形固定資産	42,308	41,682
レンタル資産	23,877	23,345
建物及び構築物	6,460	5,992
土地	9,643	9,585
その他	2,325	2,759
無形固定資産	279	278
投資その他の資産	2,854	2,478
資産合計	61,808	60,302

(単位:百万円)

	第51期第2四半期 (2019年9月30日)	第50期末 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債	19,356	18,659
支払手形	309	396
電子記録債務	5,908	7,005
買掛金	1,318	1,347
短期借入金	5,573	2,993
未払費用	2,050	2,423
未払法人税等	1,434	1,362
賞与引当金	526	500
その他	2,234	2,631
固定負債	8,630	9,308
長期借入金	6,117	6,907
役員退職慰労引当金	116	114
退職給付に係る負債	1,166	1,122
その他	1,229	1,164
負債合計	27,987	27,967
純資産の部		
株主資本	33,814	32,322
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	29,807	28,315
自己株式	△314	△314
その他の包括利益累計額	6	12
その他有価証券評価差額金	2	3
為替換算調整勘定	28	41
退職給付に係る調整累計額	△24	△32
純資産合計	33,821	32,334
負債純資産合計	61,808	60,302

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第51期第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	第50期第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	21,520	20,144
売上原価	12,294	11,790
売上総利益	9,226	8,354
販売費及び一般管理費	5,764	5,384
営業利益	3,461	2,969
営業外収益	42	70
営業外費用	47	38
経常利益	3,456	3,001
特別利益	-	0
特別損失	69	39
税金等調整前四半期純利益	3,387	2,961
法人税等	1,338	1,183
四半期純利益	2,048	1,778
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,048	1,778

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第51期第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	第50期第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	2,048	1,778
その他の包括利益	△5	△7
四半期包括利益	2,042	1,771

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第51期第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	第50期第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,164	△845
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,256	△403
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	9
現金及び現金同等物の増減額	398	△202
現金及び現金同等物の期首残高	3,992	4,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,391	4,351

企業の概要 (2019年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十番二五番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	1969年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 4. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 専務取締役 端山 秀人 取締役 三戸 茂夫 取締役 小嶋 俊一 取締役 藤田 剛 取締役 安齋 光晴 社外取締役 野倉 学 常勤監査役 村井 康之 社外監査役 山崎 直人 社外監査役 石黒 博 社外監査役 寺嶋 哲生

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-1)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1704-1483号

株式の状況 (2019年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,678,400株 (うち自己株式565,473株)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,680名 (2019年3月末比210名増)
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	5,616	50.54
長妻 貴嗣	1,657	14.91
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	362	3.26
長妻 和男	324	2.92
資産管理サービス信託銀行(株)	184	1.66
三協フロンテア従業員持株会	161	1.46
三菱UFJ信託銀行(株)	100	0.90
(株)千葉銀行	97	0.88
長妻 幸枝	95	0.86
日本生命保険相互会社	81	0.73

(注) 1.当社は自己株式を565,473株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所JASDAQスタンダード

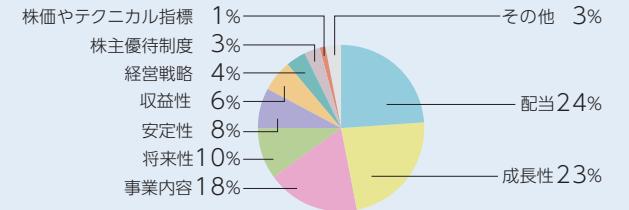
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

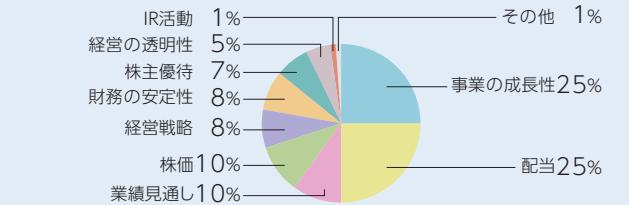
アンケート結果のご報告

「第50期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。195名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。
株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

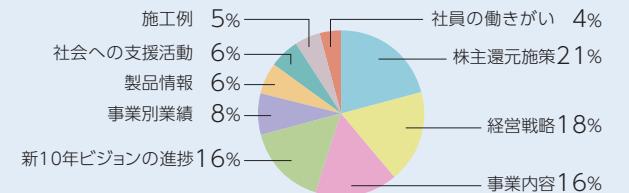
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



Q2 当社の株式を長期保有する場合は何を重視されるか お聞かせください。(複数回答)



Q3 今後、どのような情報提供を望まれるかお聞かせください。(複数回答)



『カプセルホテル「FRONTIER INN 柏たなか」が8/30オープン!』

2019年8月30日に、つくばエクスプレス線柏たなか駅前に、モバイルスペースで建てたカプセルホテル「FRONTIER INN 柏たなか」をオープンいたしました。秋葉原まで35分でアクセスでき、ビジネスにも観光にも便利にご利用いただける立地となっております。

館内には、全21キャビン(ベッド)を用意し、共用でお使いいただけるシャワー、トイレ等の設備も兼ね備えており、従来のカプセルホテルのイメージを変えるような清潔感とデザイン性を持ち併せながら、低コストでご宿泊いただけるコンパクトな設計のホテルを目指しました。

今後も、移設やリユースが可能な工業化製品である“モバイルスペース”を用いて自社で一貫して開発・設計・製造、不動産事業の運営までを行っていきます。そうすることで、工期短縮や建設後の移設のしやすさを実現した“動く不動産”としての

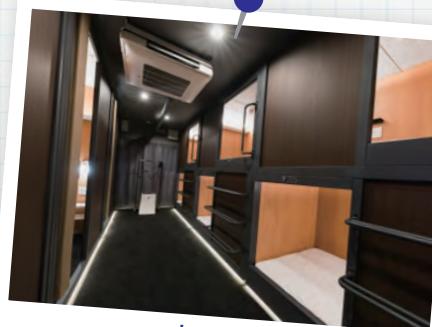
可能性を追求し、トランクルーム・カプセルホテルをはじめとする様々な不動産事業を展開、強化していきたいと考えております。



外観



共用スペース



キャビン



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

